



TIDY CHORUS TCH-1

取扱説明書

■ 安全上のご注意

火災、感電、人身傷害の危険を防止するために以下の指示を守ってください。



警告

この注意事項を無視した取り扱いをすると、重大な事故を引き起こす可能性が予想されます。

- ・ 次のような場合には、直ちに電源を切る。
 - ・ 異物が内部に入ったとき。
 - ・ 製品に異常や故障が生じたとき。
- ・ 修理が必要なときは、お買い上げの販売店、最寄りの販売店へ修理を依頼してください。
- ・ 本製品を分解したり改造したりしない。
- ・ 修理/部品の交換などで、取扱説明書に書かれている以外のことは絶対しない。
- ・ 本製品に異物(燃えやすいもの、硬貨、針金など)を入れない。
- ・ 温度が極端に高い場所(直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、発熱する器具の上など)での使用や保管はしない。
- ・ 振動の多い場所で使用や保管はしない。
- ・ ホコリの多い場所で使用や保管はしない。
- ・ 風呂場、シャワー室での使用や保管はしない。
- ・ 雨天時の野外などのような湿気の多い場所で使用や保管はしない。
- ・ 本製品の近くに液体の入ったもの(水や薬品等)を置かない。
- ・ 濡れた手で本製品を使用しない。



注意

- ・ 正常な通気が妨げられない所に設置して使用する。
- ・ ラジオ、テレビ、電子機器などから十分に離して使用する。
- ・ ラジオやテレビ等に接近して使用すると、本製品が雑音を受けて誤作動する場合があります。またラジオ、テレビ等に雑音が入ることがあります。
- ・ 外装のお手入れは乾いた柔らかい布を使って軽く拭く。
- ・ 長時間使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を抜く。
- ・ 電池は幼児の手の届かないところに保管する。
- ・ スイッチやツマミに必要以上の力を加えない。故障の原因になります。
- ・ 外装のお手入れにベンジンやシンナー系の液体、コンパウンド、強燃性のポリッシャーは使用しない。
- ・ 不安定な場所に置かない。

島村楽器株式会社

商品開発事業部

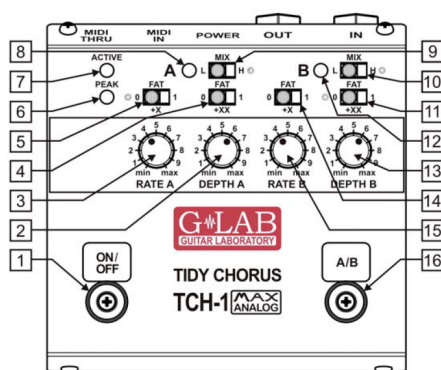
〒132-0035 東京都江戸川区平井 6-37-3

Tel. 03-3613-4160

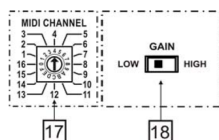
TIDY CHORUS TCH-1

取扱説明書

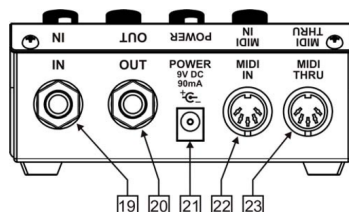
タイディーコーラス(TCH-1)は設定範囲の広いクラシックなコーラスエフェクターです。MAX アナログテクノロジーを搭載し、LFO や VCO アナログ回路を 24 ビット DSP プロセッサーによって処理しています。コーラス FAT 設定機能でとてもクリアな深いコーラス音を得ることができ、2 つのコーラスを切り替えることができます。TCH-1 はギターでもベースでも使用することができます。



- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| 1 - ON/OFF フットスイッチ | 9 - MIX A スイッチ |
| 2 - CHORUS A DEPTH ノブ | 10 - MIX B スイッチ |
| 3 - CHORUS A RATE ノブ | 11 - FAT + XX - CHORUS B スイッチ |
| 4 - FAT + XX - CHORUS A スイッチ | 12 - CHORUS B インジケーター |
| 5 - FAT + X - CHORUS A スイッチ | 13 - CHORUS B DEPTH ノブ |
| 6 - PEAK インジケーター | 14 - FAT + X - CHORUS B スイッチ |
| 7 - ACTIVE - エフェクト ON インジケーター | 15 - CHORUS B RATE ノブ |
| 8 - CHORUS A インジケーター | 16 - CHORUS A/B スイッチ |



- | | |
|---------------------|----------------|
| 17 - MIDI チャンネルスイッチ | 18 - GAIN スイッチ |
|---------------------|----------------|



- | | | |
|-----------------|------------------|-----------------|
| 19 - インプット | 20 - アウトプット | 21 - 9V 電源コネクター |
| 22 - MIDI IN 入力 | 23 - MIDITHRU 出力 | |

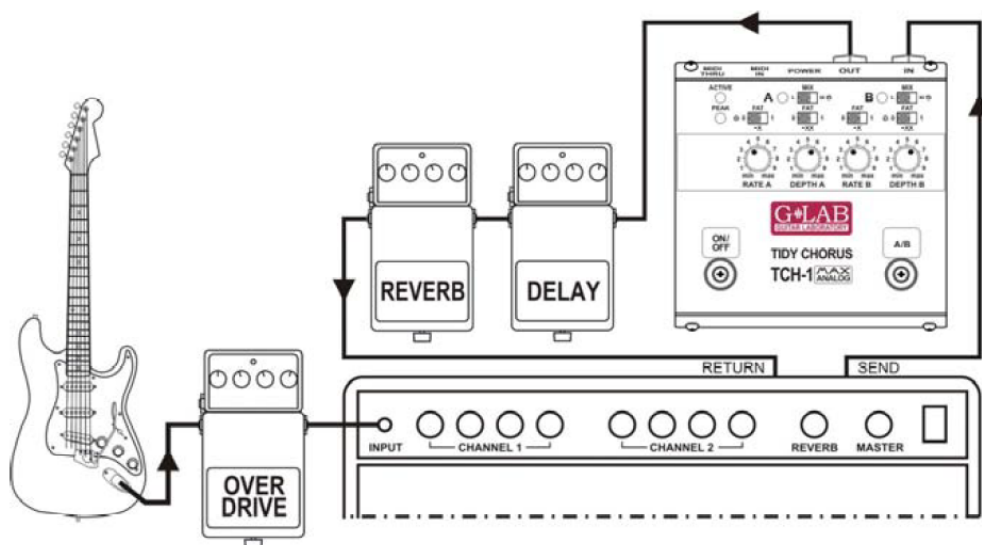
使用方法

1. 9V DC 電源アダプターを繋いでご使用ください。電源アダプターのコネクターは正しい極性(+/-)であることをご確認ください。

備考: 適切でないアダプターをご使用になりますと破損する恐れがあります。

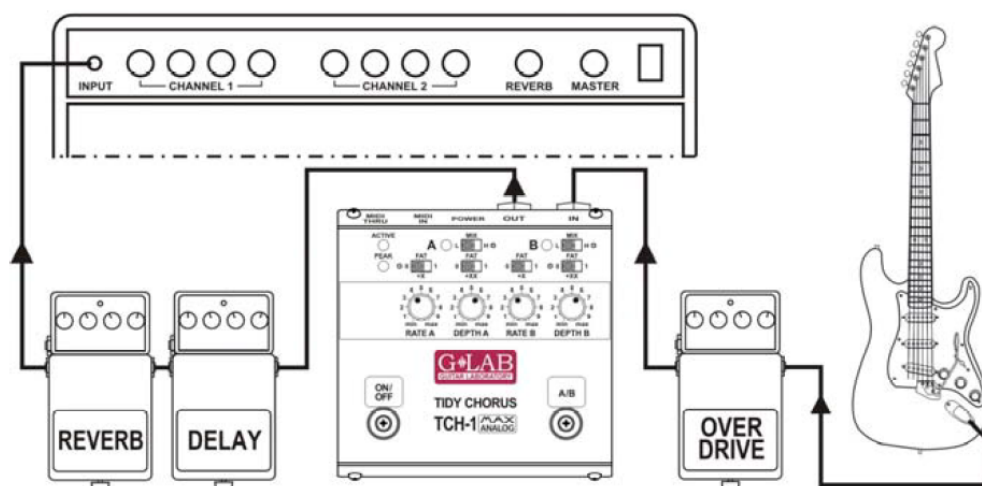
2. アンプのエフェクトループを使用する場合

ディレイやリバーブ系エフェクターの前に TCH-1 を接続してください。アンプのオーバードライブチャンネルで演奏する場合はこの接続にしてください。



3. 歪み系エフェクターを使用する場合

オーバードライブやディストーションの後、ディレイやリバーブの前に接続してください。



4. GAIN スイッチ

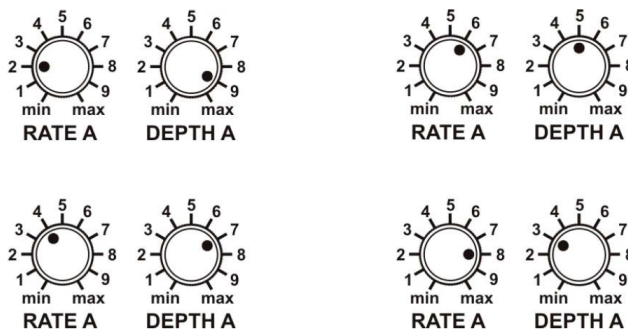
GAIN スイッチは、ギターの出力和コーラスの入力感度を最適に合わせることができます。GAIN スイッチを HIGH ポジションにしてコーラスをオンにした状態で演奏中に PEAK インジケーターが点灯しているか(特にクリーントーンで)確認し、点灯する場合は GAIN スイッチを LOW に設定してください。

5. フットスイッチ

エフェクト ON/OFF とコーラス A/B を切り替えるフットスイッチです。ACTIVE インジケータ（7.）がエフェクターの ON/OFF、Chorus A/Chorus B インジケータ（8./12.）がコーラスのタイプを示します。

6. コーラストーン設定

コーラストーンの設定は MIX、FAT + X、FAT + XX スイッチと、RATE と DEPTH レギュレーターで行います。LOW ポジションの MIX スイッチで低強度のコーラス音（ドライ音に対して 50%のエフェクト音を追加しています）が得られます。HIGH ポジションでのドライ音とエフェクト音の比率は最大強度が得られる 1:1 です。FAT + X と FAT + XX のスイッチは、ディレイタイムを変えることによりコーラスの音の“重み”とマッチさせることができます。RATE レギュレーターはモジュレーションの速度を設定し、DEPTH レギュレーターはモジュレーションの深さを設定することができます。低速度に設定するには高い深さのモジュレーションにする必要があります。



7. MIDI コントロール

コマンドを受信する MIDI チャンネルを設定するには MIDI チャンネルのロータリースイッチで行います。

小さなマイナスドライバーを使用してスイッチを左右に回してください。矢印は選択されたチャンネルを示します。

PRG CHANGE	FUNCTION
1	BYPASS
2	CHORUS A ON
3	CHORUS B ON
4	SELECTED CHORUS ON
5	BYPASS AND SELECT CHORUS A
6	BYPASS AND SELECT CHORUS B

CTRL CHANGE No.	VAL	FUNCTION
112	1	BYPASS
	2	CHORUS A ON
	3	CHORUS B ON
	4	SELECTED CHORUS ON
	5	BYPASS AND SELECT CHORUS A
	6	BYPASS AND SELECT CHORUS B